

# 2022年度第3四半期決算の概要及び 2022年度業績予想の概要

三井化学株式会社

2023年2月3日

本資料の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。


# 目次

1. 2022年度第3四半期決算の概要	
1) 主要関連指標動向	…1
2) 主な投資案件等の状況	…2
3) 決算の概要	…3-4
4) セグメント別 売上収益/コア営業利益の増減（増減分析 対前年決算）	…5
5) セグメント別 コア営業利益増減/事業動向変化	…6-9
6) 非経常項目の内訳	…10
7) 財政状態計算書	…11
8) キャッシュ・フロー計算書	…12
2. 2022年度業績予想の概要	
1) 業績予想の概要	…13-14
2) セグメント別 コア営業利益の増減（対前回予想 下期）	…15
3) セグメント別 コア営業利益増減/事業動向変化（対前年決算）	…16-19
4) セグメント別 コア営業利益の増減（3Q→4Q増減）	…20
5) キャッシュ・フロー計算書の予想	…21
3. 補助資料	…22-28

# 1. 2022年度第3四半期決算の概要

---

# 1) 主要関連指標動向

関連指標	22年度			
	2Q→3Q		3Q→4Q	
自動車生産台数(世界)	➡		➡	
<div style="display: flex;"> <div style="border-right: 1px solid black; padding-right: 5px; margin-right: 5px;">           日本 北米 中国 ASEAN 欧州         </div> <div>           ・回復に地域差があり全体は横ばいで推移         </div> </div>		・中国の季節影響を除き、各地域とも3Qからは <b>回復</b> を見込む ただし、景気減速による影響懸念		
半導体市場	<b>需要減</b>		中国の季節影響含み <b>需要減</b>	
市況	フェノール	➡		➡
	ビスフェノールA	➡		・引続き需給環境軟化継続
	アセトン	➡		➡
	TDI	➡		・引続き需給環境軟化継続
	MDI	➡		➡
クラッカー稼働率	<b>低稼働</b>		<b>低稼働</b>	

## 2) 主な投資案件等の状況

主な投資案件		時期	能力	FY21	FY22	FY23以降
ライフ & ヘルスケア・ソリューション	整形外科領域 日本エム・ディ・エム資本・業務提携	22年1月	-			
	農薬事業買収	22年1月	-			
	メガネレンズ加工機メーカー買収	22年11月	-			
	メガネレンズモノマー能力増強@Japan	23年10月	-			
モビリティソリューション	ガラス長繊維強化PP新設@China	21年4月	3.5KT			
	タフマー®能力増強@Singapore	21年4月	25KT			
	ルーカント®新拠点@Japan	21年4月	20KT			
	タフマー®新設@Singapore	24年度	120KT			
ICTソリューション	EUUVベリクル新設備@Japan	21年4月	-			
	アベル®新プラント@Japan	22年6月	+50%			
	ベリクル事業買収	23年7月	-			
	イクロステープ™能力増強@Taiwan	23年10月	380万㎡			
ベーシック & グリーン・マテリアルズ	本州化学工業 連結子会社化	21年10月	-			
	ポリウレタン事業 合併解消	21年12月	-			
	錦湖三井化学 MDI能力増強@Korea	24年7月	200KT			
	高機能PP新設備@Japan	24年11月	200KT			
	バイオマス原料調達拡大に向けた出資	22年6月				
新事業・新製品	CVC設立	22年7月	-			
最適化・再構築	高純度テレフタル酸(PTA)生産停止@Japan	23年8月	400KT			生産停止
	フェノール子会社株式譲渡@Singapore	23年3月				株式譲渡

22年度1Q-3Q 商業運転開始プラント等

22年度1Q-3Q 意思決定案件等

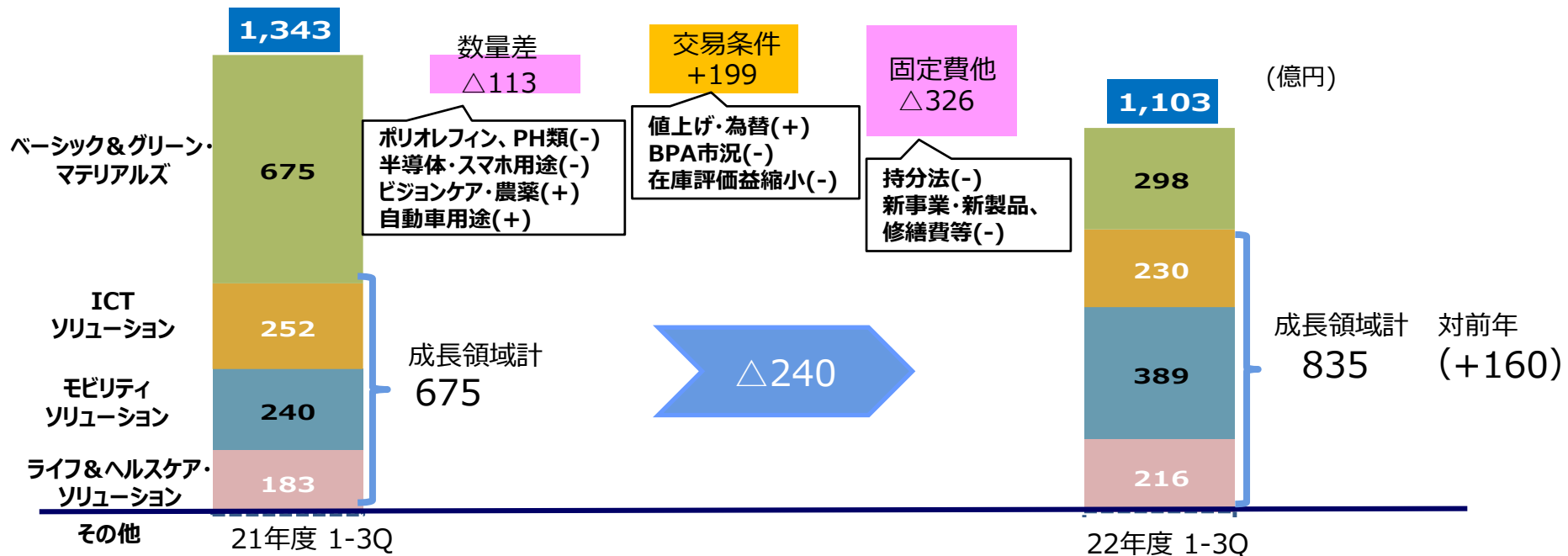
## 3-1) 決算の概要

(単位：億円)

摘 要	21年度 4-12月決算	22年度 4-12月決算	増減	増減率
売上収益	11,651	14,289	2,638	23%
コア営業利益	1,343	1,103	△ 240	△18%
(うち、持分法による投資損益)	220	184	△ 36	△16%
非経常項目	43	△ 33	△ 76	-
営業利益	1,386	1,070	△ 316	△23%
金融収益・費用	△ 64	△ 68	△ 4	-
税引前四半期利益	1,322	1,002	△ 320	△24%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	1,027	649	△ 378	△37%
為替レート(円/US\$)	111	137	+ 26	
国産ナフサ(円/KL)	54,000	80,000	+ 26,000	

## 3-2) 決算の概要 (コア営業利益)

- ①ポリオレフィン及びフェノール類は需要減により販売数量は減少。
- ②半導体、スマートフォン市場の需要鈍化により、半導体関連の販売数量は減少。
- ③ビジョンケア、農薬は引続き販売堅調。
- ④グローバルな部材不足の影響は残るものの、自動車用途関連は回復。
- ⑤価格改定及び円安影響により交易条件改善。
- ⑥ビスフェノールAの海外市況は、需給環境が軟化し下落。
- ⑦22年度2Qからの原料価格下落に伴う在庫評価益の縮小。
- ⑧資材費高騰による修繕費及び新事業・新製品開発等の資源投入によるコスト増加。



# 4) セグメント別 売上収益/コア営業利益の増減 (対前年決算)





(単位：億円)

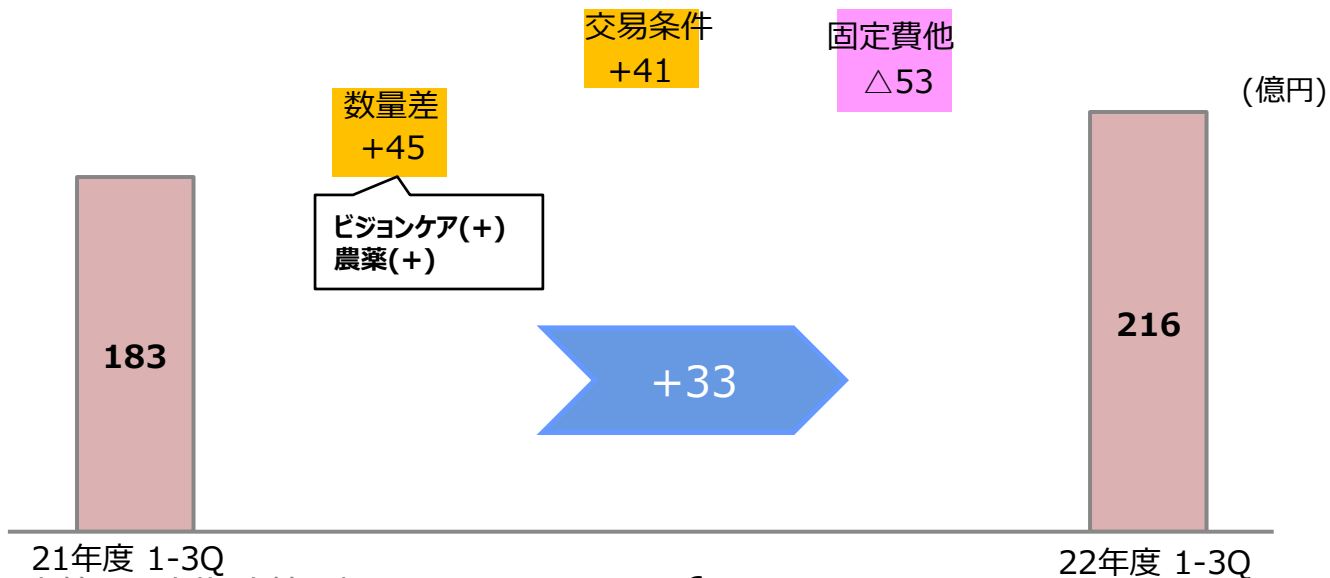
セグメント	売上収益			コア営業利益			増減内訳		
	21年度 4-12月決算	22年度 4-12月決算	増減	21年度 4-12月決算	22年度 4-12月決算	増減	数量差	交易条件	固定費他
ライフ&ヘルスケア・ソリューション	1,589	1,868	279	183	216	33	45	41	△ 53
モビリティソリューション	3,114	3,908	794	240	389	149	18	216	△ 85
ICTソリューション	1,553	1,796	243	252	230	△ 22	△ 58	67	△ 31
ベーシック&グリーン・マテリアルズ	5,316	6,605	1,289	675	298	△ 377	△ 118	△ 125	△ 134
その他	79	112	33	△ 7	△ 30	△ 23	-	-	△ 23
合計	11,651	14,289	2,638	1,343	1,103	△ 240	△ 113	199	△ 326
成長領域*	6,256	7,572	1,316	675	835	160			

\*ライフ&ヘルスケア、モビリティ、ICT

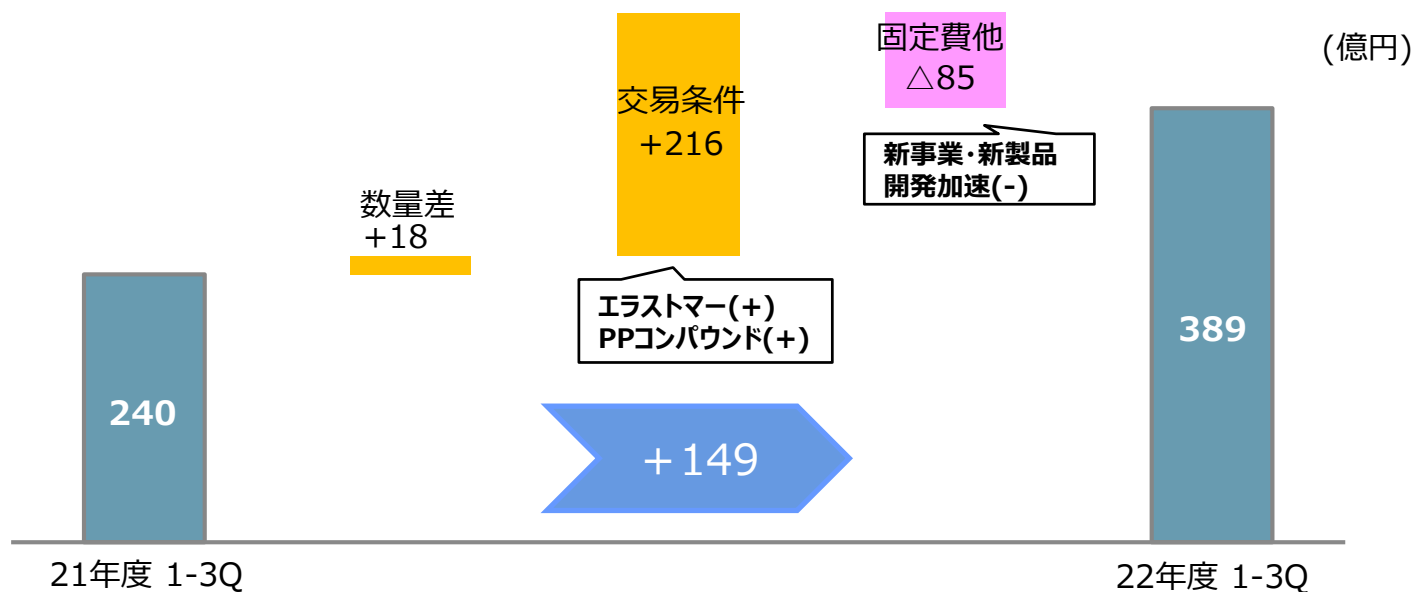


# 5-1) ライフ&ヘルスケア・ソリューション:コア営業利益増減/事業動向

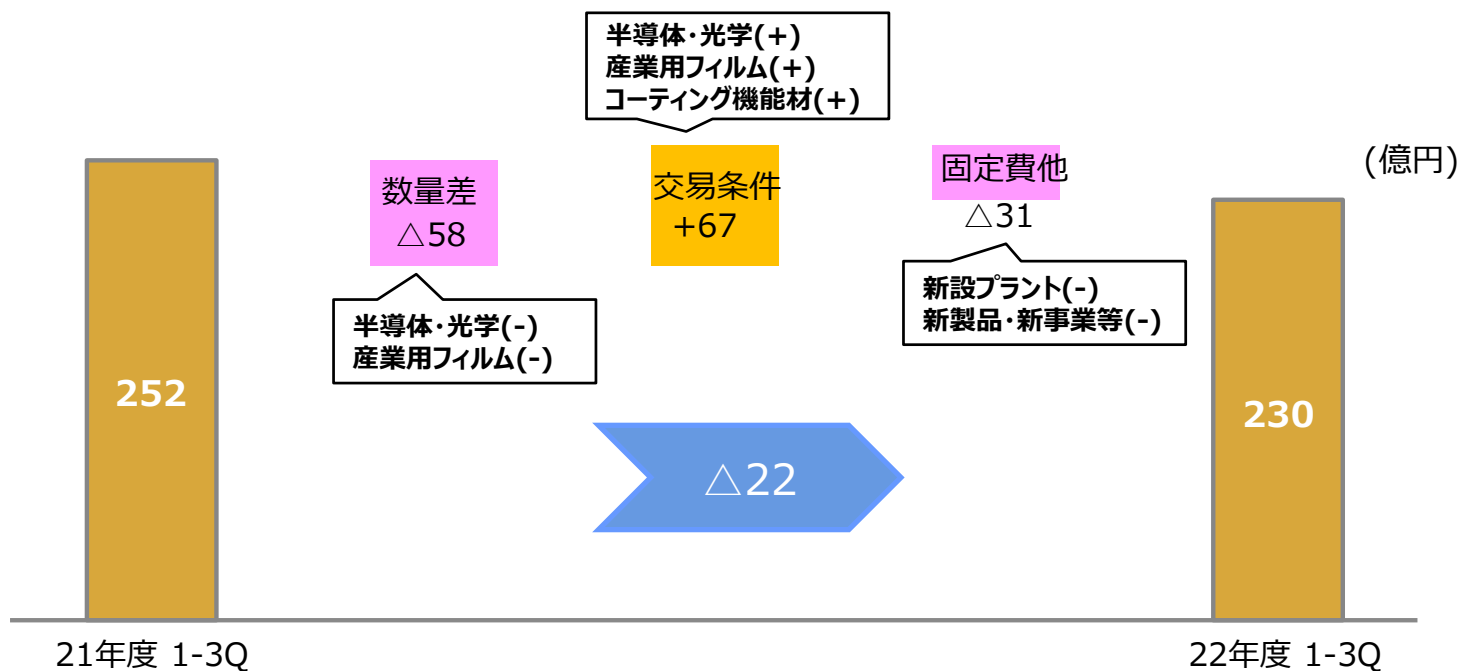
	22年度3Q決算/事業動向	主要増減要因
ビジョンケア	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・販売は堅調に推移</li> <li>・値上げするも原料価格上昇に伴う交易悪化</li> </ul>	数量(+) 交易条件(-)
不織布	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・価格改定に伴う交易改善</li> </ul>	数量(-) 交易条件(+)
オーラルケア	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・販売は前年並みに推移</li> <li>・固定費増</li> </ul>	固定費(-)
農薬	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・販売は堅調に推移</li> <li>・為替差による交易改善</li> <li>・販売増加等に伴う固定費増</li> </ul>	数量(+) 交易条件(+) 固定費(-)






	22年度3Q決算/事業動向	主要増減要因
エラストマー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽電池封止材の販売は堅調に推移</li> <li>・価格改定及び為替差、高付加価値品へのシフトによる交易改善</li> </ul>	交易条件(+) 固定費(-)
複合材料 (PPコンパウンド 機能性コンパウンド)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車用途関連は回復</li> <li>・価格改定及び為替差による交易改善</li> </ul>	数量(+) 交易条件(+) 固定費(-)
ソリューション事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・販売は受注減継続により前年並み</li> </ul>	-

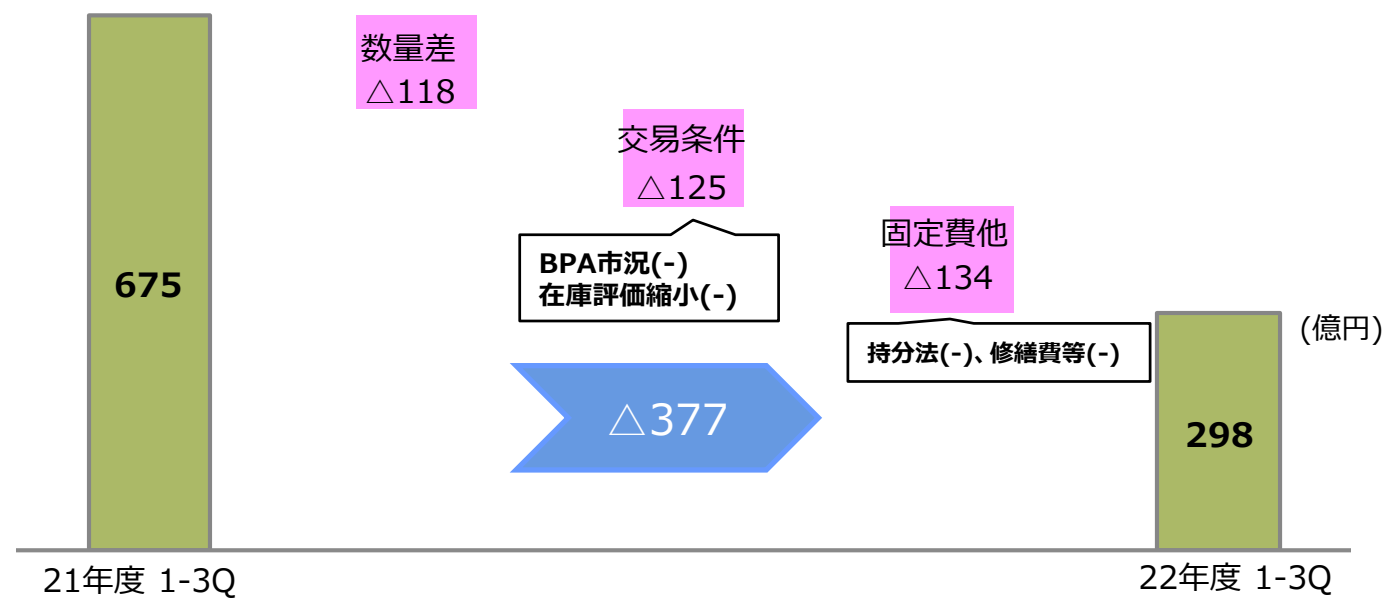


	22年度3Q決算/事業動向	主要増減要因
半導体・光学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・EUVペリクルの販売は堅調に推移するも、半導体及びスマートフォン市場需要鈍化の影響を受け販売は減少</li> <li>・為替差により交易条件改善</li> <li>・新設プラント稼働による固定費増(アペル<sup>®</sup>)</li> </ul>	数量(-) 交易条件(+) 固定費(-)
産業用フィルム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・半導体需要鈍化により販売は減少</li> <li>・為替差により交易条件改善</li> </ul>	数量(-) 交易条件(+) 固定費(-)



# 5-4) ベーシック&グリーン・マテリアルズ:コア営業利益増減/事業動向変化

	22年度3Q決算/事業動向	主要増減要因
石化	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・需要減により販売減少</li> <li>・22年度2Qからの原料価格下落に伴う在庫評価益の縮小</li> </ul>	数量(-) 在庫(-) 固定費(-)
基礎化	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・需要減により販売減少</li> <li>・ビスフェノールAを中心に海外市況は、需給環境が軟化し下落</li> </ul>	数量(-) 交易条件(-) 固定費(-) 持分法(-)
ウレタン	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・持分法投資損益の増加</li> </ul>	数量(-) 持分法(+) 



## 6) 非経常項目の内訳

(単位：億円)

摘 要	21年度 4-12月決算	22年度 4-12月決算	増減
固定資産処分・売却損益	△ 6	△ 16	△ 10
減 損 損 失	△ 3	△ 40	△ 37
そ の 他	52	23	△ 29
非経常項目 合計	43	△ 33	△ 76

# 7) 財政状態計算書

(単位：億円)

摘 要	22年3月末	22年12月末	増減	摘 要	22年3月末	22年12月末	増減
流動資産	( 10,335 )	( 11,323 )	( 988 )	負債	( 11,279 )	( 12,229 )	( 950 )
現金及び 現金同等物	1,812	1,934	122	営業債務	1,748	1,864	116
営業債権	3,704	3,795	91	有利子負債	7,151	8,110	959
棚卸資産	3,690	4,553	863	その他	2,380	2,255	△ 125
その他	1,129	1,041	△ 88	資本	( 8,071 )	( 8,628 )	( 557 )
非流動資産	( 9,015 )	( 9,534 )	( 519 )	親会社の所有者に 帰属する持分	7,127	7,657	530
有形固定資産及び 使用権資産	5,536	5,935	399	非支配持分	944	971	27
のれん及び 無形資産	633	663	30				
非流動の その他の資産	2,846	2,936	90				
合 計	19,350	20,857	1,507	合 計	19,350	20,857	1,507

## 8) キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

摘 要	21年度 4-12月決算	22年度 4-12月決算	増減
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー (A)	543	441	△ 102
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー (B)	△ 1,040	△ 673	367
フリーキャッシュ・フロー (A + B)	△ 497	△ 232	265
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	631	290	△ 341
IV. その他	24	64	40
現預金等増減	158	122	△ 36

## 2. 2022年度業績予想の概要

22年度よりセグメントを変更しております。  
新セグメントに基づく21年度以前の決算値は、22年度業績予想との比較を目的に作成した概算値(除く21年度1-3Q)です。



# 1 - 1) 業績予想の概要

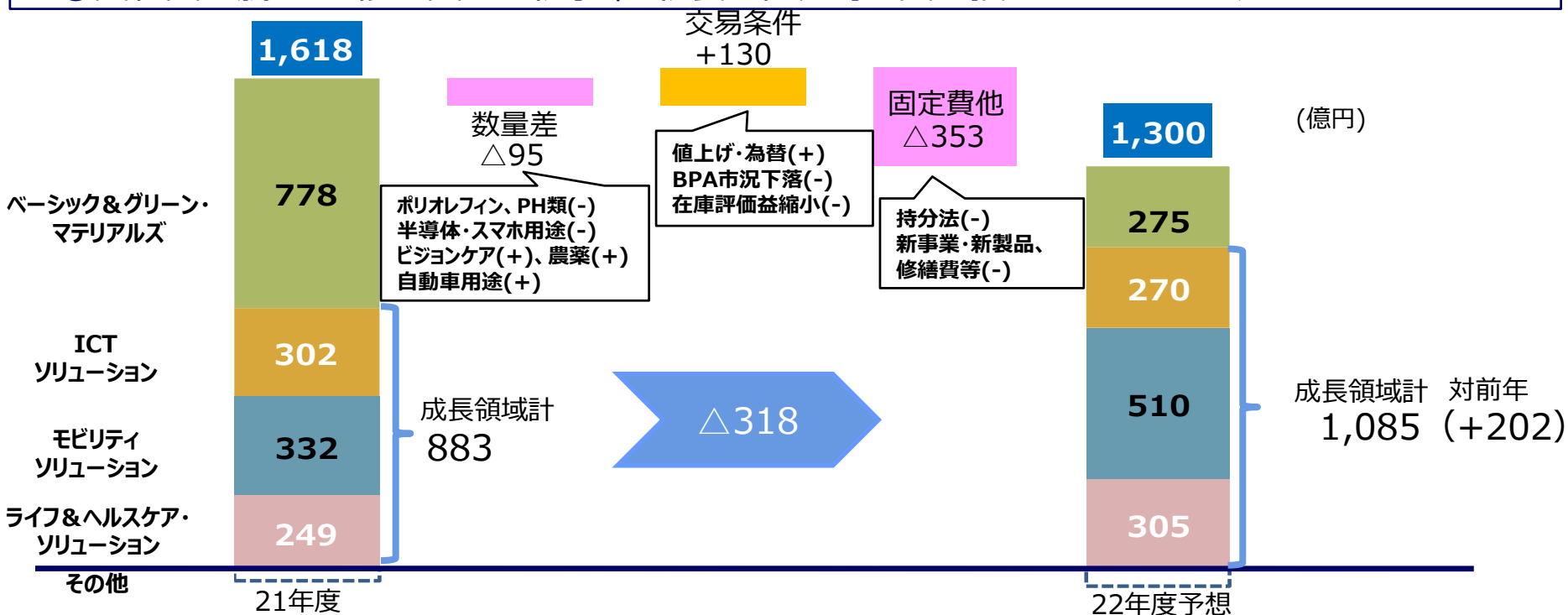
(単位：億円)

摘 要	21年度決算		22年度予想		増減 (b)-(a)		22年度前回予想 (22.11.8発表)	
	4-9月	年度 (a)	4-9月	年度 (b)	年度	%	4-9月	年度
売上収益	7,435	16,127	9,511	19,100	2,973	18%	9,511	20,000
コア営業利益	943	1,618	776	1,300	△ 318	△20%	776	1,400
非経常項目	23	△ 145	△ 51	170	315	-	△ 51	160
営業利益	966	1,473	725	1,470	△ 3	△0%	725	1,560
金融収益・費用	△ 22	△ 60	△ 18	△ 60	0	-	△ 18	△ 20
税引前利益	944	1,413	707	1,410	△ 3	△0%	707	1,540
親会社の所有者に 帰属する当期利益	760	1,100	444	950	△ 150	△14%	444	1,050
為替レート(円/US\$)	110	112	134	135	+ 23		134	137
国産ナフサ(円/KL)	50,600	56,600	83,750	77,000	+ 20,400		83,750	78,900
配 当	中間	期末	中間	期末	中間増減	期末増減	中間	期末
	55 円/株	65 円/株*	60 円/株	60 円/株	+5円/株	△5円/株	60 円/株	60 円/株
	通期 120 円/株*		通期 120 円/株		通期 +0円/株		通期 120 円/株	

\*特別配当5円/株含む

# 1 - 2) 業績予想の概要 (コア営業利益)

- ①ポリオレフィン及びフェノール類は需要減により販売数量は減少。
- ②半導体、スマートフォン市場の需要鈍化により、半導体関連の販売数量は減少。
- ③ビジョンケア、農薬は引続き販売堅調を見込む。
- ④自動車用途関連は生産台数の回復を見込む。
- ⑤価格改定及び円安影響により交易条件改善。
- ⑥ビスフェノールAの海外市況下落。
- ⑦22年度2Qからの原料価格下落に伴う在庫評価益の縮小。
- ⑧資材費高騰による修繕費及び新事業・新製品開発等の資源投入によるコスト増加。







## 2) セグメント別 コア営業利益の増減 (対前回予想 下期)

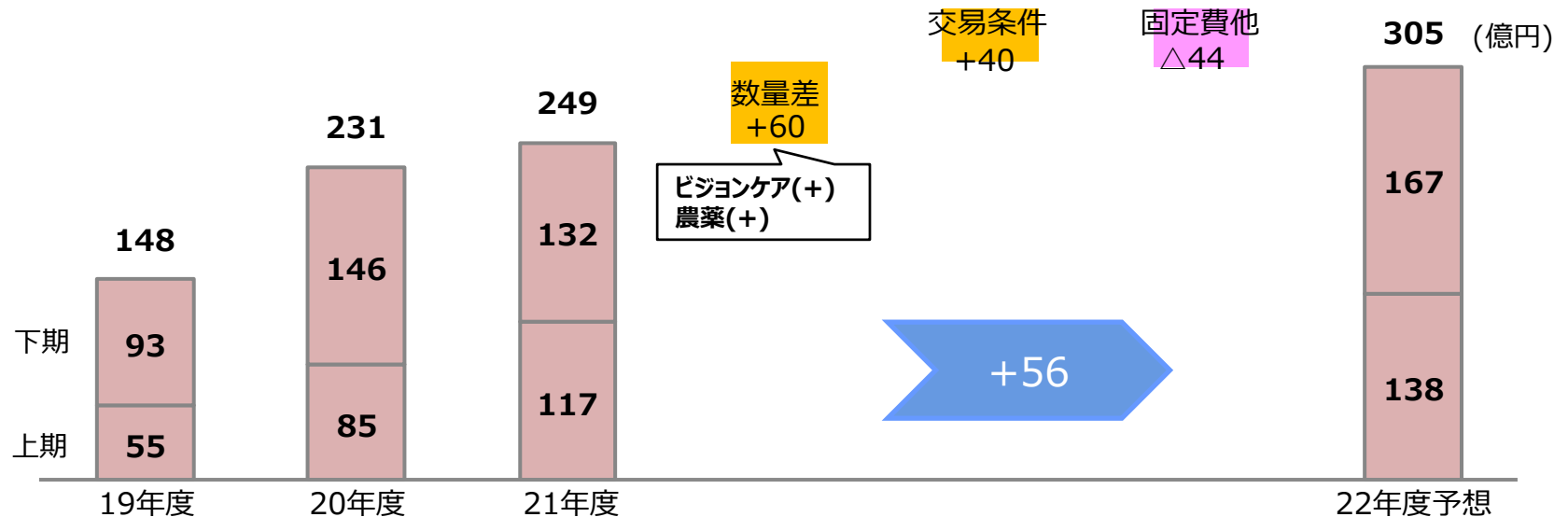
(単位：億円)

セグメント	22年度 コア営業利益			主要増減要因
	下期 前回予想 (22.11.8発表)	下期 今回予想	増減	
ライフ & ヘルスケア・ソリューション	167	167	0	
モビリティソリューション	246	276	30	自動車用途数量(-)、 交易(+)、固定費(+)
ICTソリューション	165	120	△ 45	半導体関連数量(-)
ベーシック & グリーン・マテリアルズ	97	2	△ 95	数量(-)、在庫(-)
その他	△ 51	△ 41	10	
合計	624	524	△ 100	
成長領域*	578	563	△ 15	

\*ライフ&amp;ヘルスケア、モビリティ、ICT

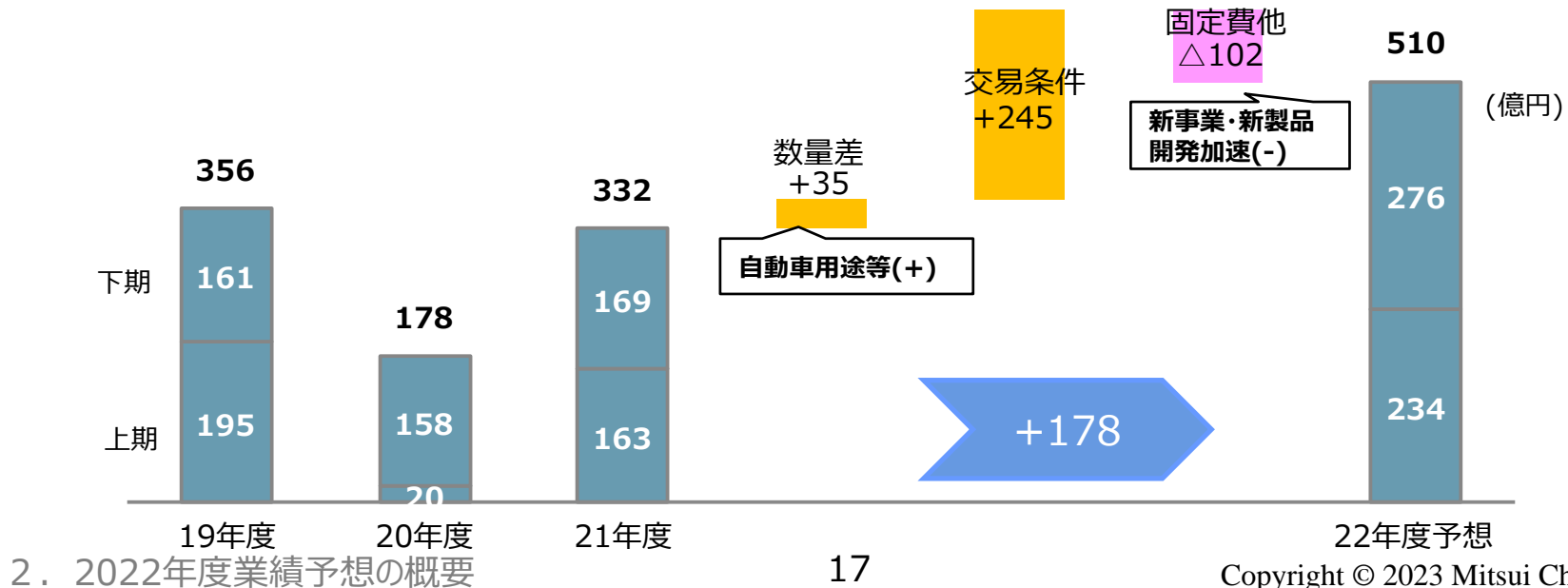
### 3-1) ライフ&ヘルスケア・ソリューション:コア営業利益増減/事業動向(対前年決算)

	22年度予想/事業動向	主要増減要因
ビジョンケア	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・販売は堅調に推移</li> <li>・値上げするも原料価格上昇に伴う交易悪化</li> </ul>	数量(+) 交易条件(-)
不織布	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・価格改定に伴う交易改善</li> </ul>	数量(-) 交易条件(+)
オーラルケア	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・販売は堅調に推移</li> <li>・固定費増</li> </ul>	数量(+) 固定費(-)
農薬	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・販売は堅調に推移</li> <li>・国内値上げ及び為替差による交易改善</li> <li>・販売増加に伴う固定費増</li> </ul>	数量(+) 交易条件(+) 固定費(-)



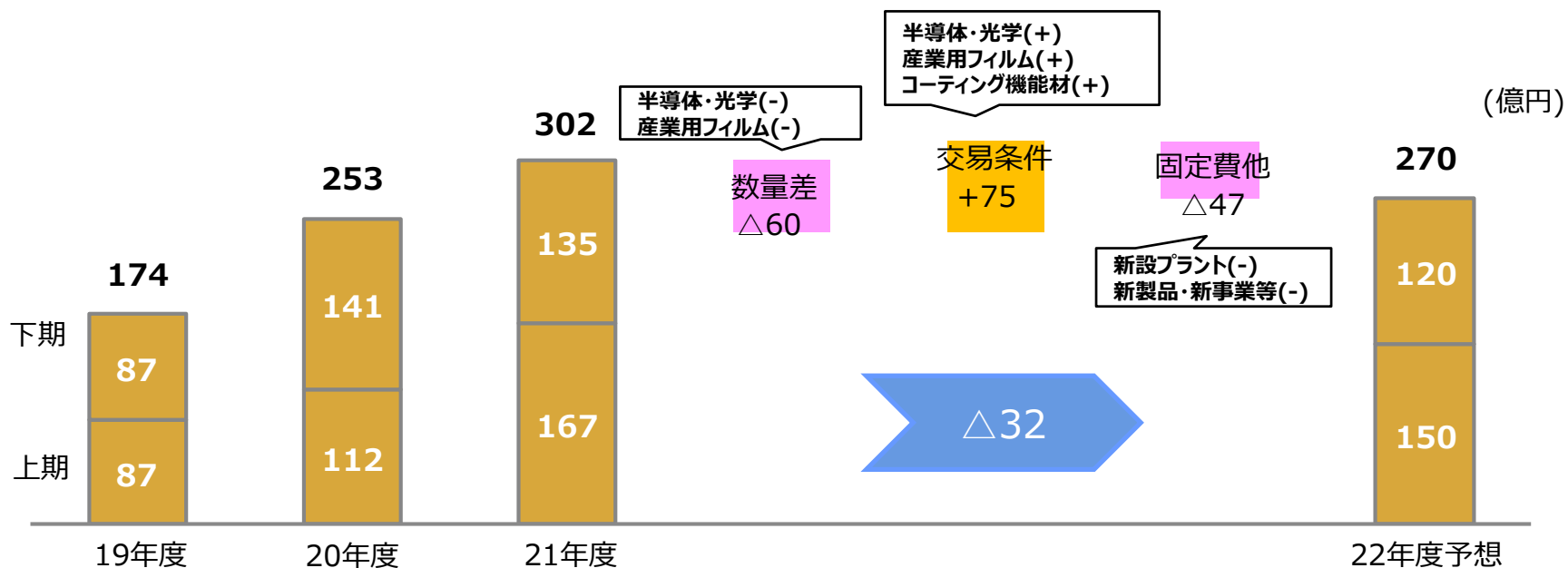
### 3-2) モビリティ・ソリューション: コア営業利益増減/事業動向(対前年決算)

	22年度予想/事業動向	主要増減要因
エラストマー	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車用途回復、太陽電池封止材等の需要堅調に伴う販売増</li> <li>価格改定及び為替差、高付加価値品へのシフトによる交易改善</li> </ul>	数量(+) 交易条件(+) 固定費(-)
複合材料 (PPコンパウンド 機能性コンパウンド)	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車用途回復に伴う販売増</li> <li>価格改定及び為替差による交易改善</li> </ul>	数量(+) 交易条件(+) 固定費(-)
ソリューション事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>販売は受注減継続により前年並み</li> </ul>	-



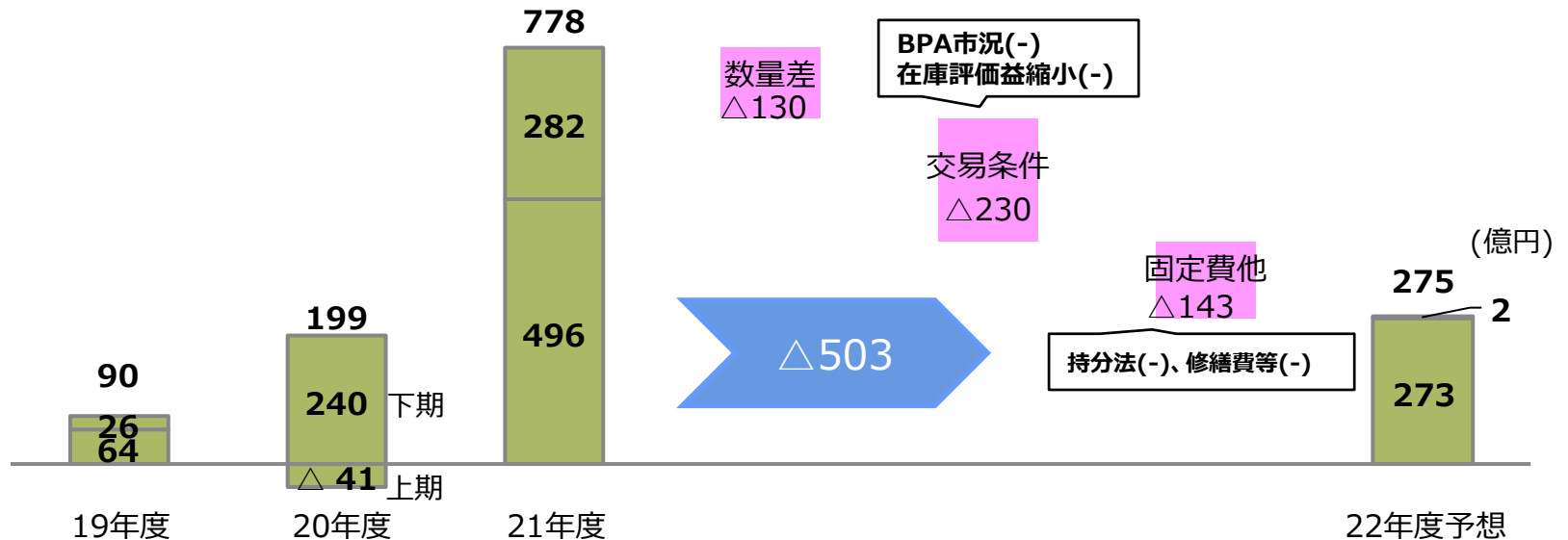
### 3-3) ICTソリューション: コア営業利益増減/事業動向(対前年決算)

	22年度予想/事業動向	主要増減要因
半導体・光学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・EUVペリクルの販売は堅調に推移するも、半導体及びスマートフォン市場需要鈍化の影響を受け販売は減少</li> <li>・為替差により交易条件改善</li> <li>・新設プラント稼働による固定費増(アペル®)</li> </ul>	数量(-) 交易条件(+) 固定費(-)
産業用フィルム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・半導体市場需要鈍化により販売減少</li> <li>・為替差により交易条件改善</li> </ul>	数量(-) 交易条件(+) 固定費(-)



# 3-4) ベーシック&グリーン・マテリアルズ: コア営業利益増減/事業動向(対前年決算)

	22年度予想/事業動向	主要増減要因
石化	<ul style="list-style-type: none"> <li>需要減少に伴う販売数量減少</li> <li>22年度2Qからの原料価格下落に伴う在庫評価益の縮小</li> </ul>	数量(-) 在庫(-) 固定費(-)
基礎化	<ul style="list-style-type: none"> <li>需要減少に伴う販売数量減少</li> <li>ビスフェノールAの海外市況は、需給軟化により下落</li> <li>持分法投資損益の悪化</li> </ul>	数量(-) 交易条件(-) 持分法(-) 固定費(-)
ウレタン	<ul style="list-style-type: none"> <li>持分法投資損益の増加</li> </ul>	数量(-) 持分法(+) 



## 4) セグメント別 コア営業利益の増減 (3Q→4Q増減)

(単位：億円)

セグメント	22年度 コア営業利益			主要増減要因
	3Q	4Q予想	増減	
ライフ & ヘルスケア・ソリューション	78	89	11	農薬数量(+)、固定費(-)
モビリティソリューション	155	121	△ 34	交易(-)、自動車用途数量(+)
ICTソリューション	80	40	△ 40	交易(-)、固定費(-)
ベーシック&グリーン・マテリアルズ	25	△ 23	△ 48	固定費(-)
その他	△ 11	△ 30	△ 19	
合計	327	197	△ 130	
成長領域*	313	250	△ 63	

\*ライフ&amp;ヘルスケア、モビリティ、ICT



## 5) キャッシュ・フロー計算書の予想

(単位：億円)

摘要	21年度決算	22年度予想	増減	22年度 前回予想 (22.11.8発表)
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー (A)	926	900	△ 26	810
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー (B)	△ 2,052	△ 645	1,407	△ 690
フリーキャッシュ・フロー (A + B)	△ 1,126	255	1,381	120
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	892	△ 140	△ 1,032	△ 90
IV. その他	86	65	△ 21	140
現預金等増減	△ 148	180	328	170

## 3. 補助資料

- 1) 製品価格の状況
- 2) 売上収益の増減概要
- 3) セグメント別 売上収益/コア営業利益の内訳（四半期別）
- 4) セグメント情報
- 5) データハイライト

# 1) 製品価格の状況

(P E国内、P P国内、P H国内、B P A国内：国内価格改定幅)

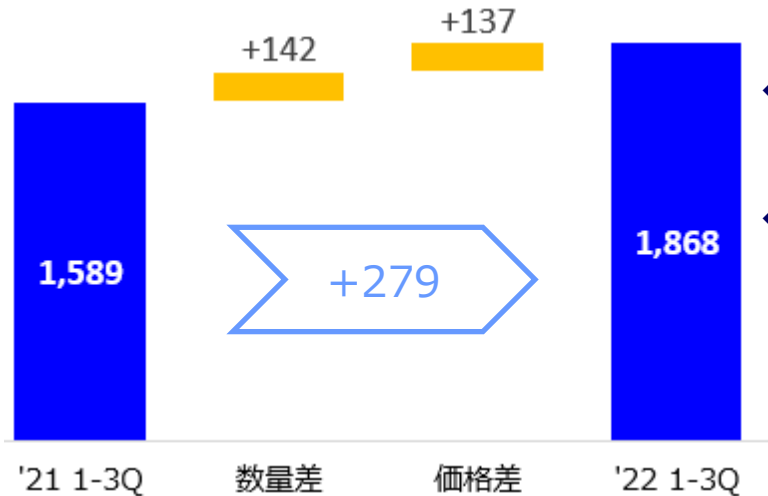
年		2020年				2021年				2022年			
月		1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
国産標準 ナリ価格	(円/KL)	44,800	24,900	30,200	31,300	38,800	47,700	53,500	60,700	64,600	86,100	81,400	72,500
P E国内	(円/KG)	+10円 程度	△30円 程度	→	→	+20円 程度	→	+10円 程度	+30円 程度	+30円 程度	+15円 程度	△10円 程度	△15円 程度
P P国内	(円/KG)	+10円 程度	△30円 程度	→	→	+20円 程度	→	+10円 程度	+30円 程度	+30円 程度	+15円 程度	△10円 程度	△15円 程度
P H国内 (70~117価格)	(円/KG)	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
B Z (* A C P)	(\$/T)	\$700	\$360	\$440	\$490	\$720	\$930	\$1,030	\$970	\$1,030	\$1,230	\$1,120	\$880
B P A国内	(円/KG)	+5円 (1月~)	△15円 (6月~)	→	→	→	+60円 (4月~)	+35円 (9月~)	→	+20円 (3月~)	+32円(4月~) +38円(6月~)	→	△14円 (12月~)
BZ/BPA市況をベースに都度交渉													
B P A 中国市況	(\$/T)	\$1,310	\$1,210	\$1,290	\$1,990	\$2,630	\$3,230	\$3,320	\$2,480	\$2,340	\$2,060	\$1,580	\$1,450
P T A 中国市況	(\$/T)	\$560	\$420	\$440	\$450	\$600	\$660	\$710	\$700	\$830	\$950	\$840	\$760
P X (* A C P)	(\$/T)	\$710	\$500	\$550	\$560	\$770	\$860	\$920	\$890	\$1,090	\$1,260	\$1,090	\$980
T D I 中国市況	(\$/T)	\$1,430	\$1,330	\$1,580	\$2,330	\$2,150	\$2,040	\$1,900	\$2,200	\$2,610	\$2,770	\$2,320	\$2,410

\* ACP アジア圏契約価格

## 2-1) 売上収益の増減概要

### ライフ&ヘルスケア

(単位: 億円)



#### ◆数量差 +142億円

・ビジョンケア材料、農薬は販売堅調。

#### ◆価格差 +137億円

・原料価格上昇による価格改定、為替差。

### モビリティ

(単位: 億円)



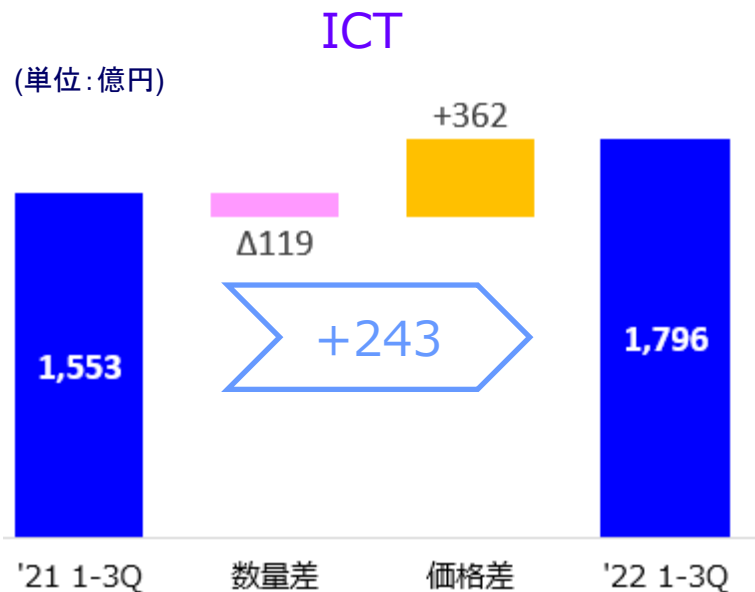
#### ◆数量差 +100億円

・自動車用途回復、太陽電池封止材は販売堅調。

#### ◆価格差 +694億円

・原料価格上昇による価格改定、為替差等。

## 2-2) 売上収益の増減概要

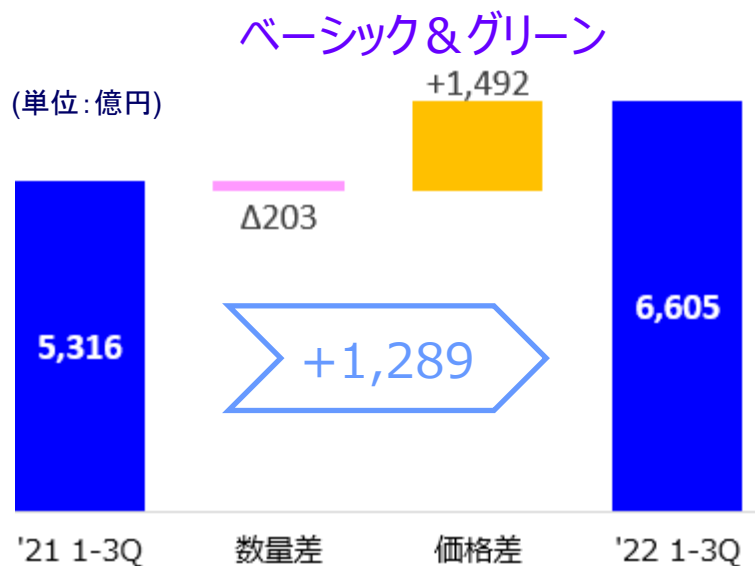


◆数量差 △119億円

・半導体関連の販売は減少。

◆価格差 +362億円

・原料価格上昇による価格改定、為替差。



◆数量差 △203億円

・ポリオレフィン及びフェノール類の販売は減少。

◆価格差 +1,492億円

・原料価格上昇による価格改定。

### 3) セグメント別 売上収益/コア営業利益の内訳 (四半期別)

(単位：億円)



セグメント	売上収益							
	21年度				22年度			
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月 予想
ライフ&ヘルスケア・ソリューション	523	505	561	663	587	634	647	732
モビリティソリューション	1,009	985	1,120	1,213	1,206	1,348	1,354	1,392
ICTソリューション	506	511	536	518	592	590	614	454
ベーシック&グリーン・マテリアルズ	1,633	1,712	1,971	2,055	2,343	2,140	2,122	2,195
その他	35	16	28	27	33	38	41	38
合計	3,706	3,729	4,216	4,476	4,761	4,750	4,778	4,811

(単位：億円)

セグメント	コア営業利益							
	21年度				22年度			
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月 予想
ライフ&ヘルスケア・ソリューション	64	53	66	66	62	76	78	89
モビリティソリューション	96	67	77	92	95	139	155	121
ICTソリューション	92	75	85	50	92	58	80	40
ベーシック&グリーン・マテリアルズ	270	226	179	103	208	65	25	△ 23
その他	△ 3	3	△ 7	△ 36	△ 11	△ 8	△ 11	△ 30
合計	519	424	400	275	446	330	327	197

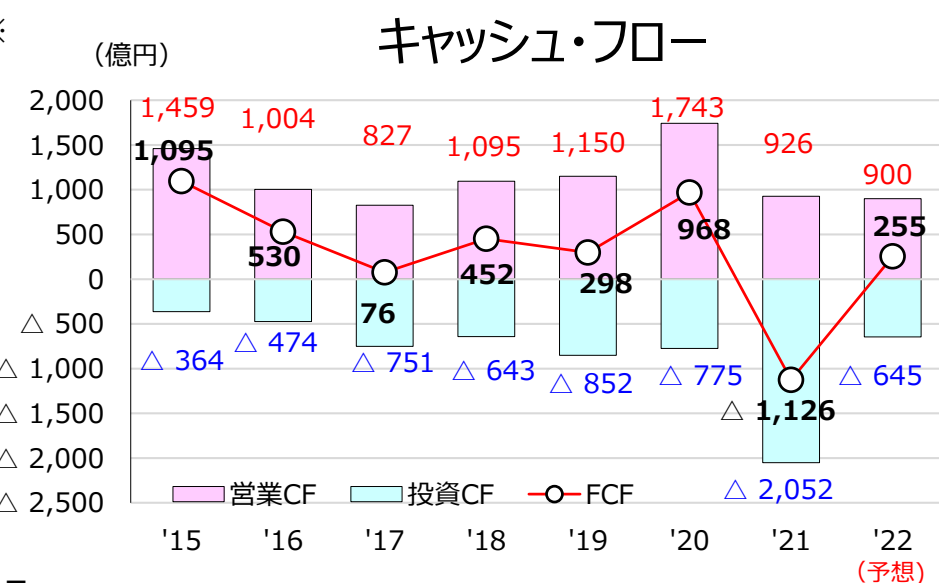
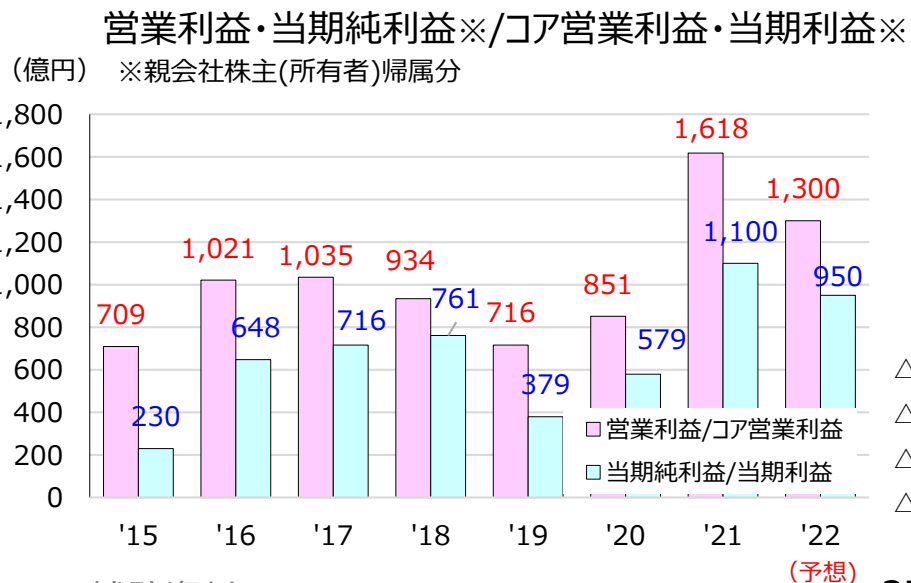
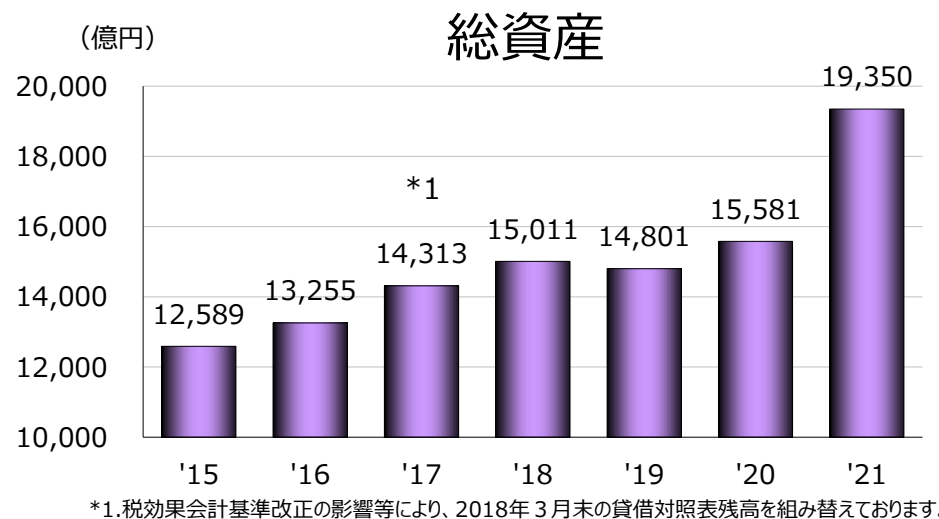
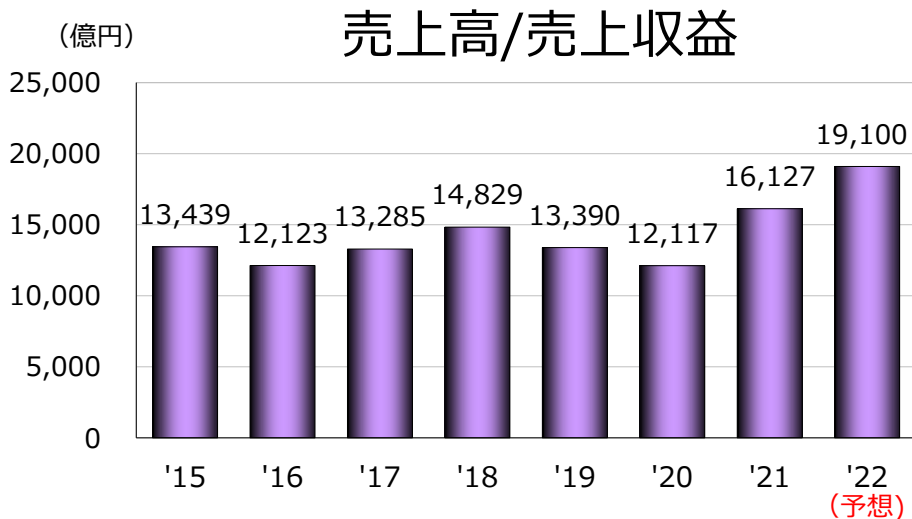
\*21年度コア営業利益のセグメント組替につきましては22年5月13日の公表時からセグメントの修正を行っております。

# 4) セグメント情報

セグメント	事業分野	主な製品等
ライフ&ヘルスケア・ソリューション	ビジョンケア、パーソナルケア、不織布、オーラルケア、農薬、医療事業推進室	プラスチックメガネレンズ材料（MR™、Do Green™）、 メディカル材料（タウリン）、 不織布（シンテックス®、エアリア®、テクノロート®）、 オーラルケア材料（充填材料、接着材料、デジタル機器）、 農薬（ジノテフラン、テネベナール®）
モビリティソリューション	エラストマー重合、複合材料、ソリューション事業、モビリティソリューション事業推進室	タフマー®、三井EPT™、ルーカント®、 PPコンパウンド、機能性コンパウンド（アドマー®、ミラストマー®、アーレン®）  
ICTソリューション	半導体・光学、コーティング機能材、機能性フィルム・シート、ICT材料事業推進室	三井ペリクル™（ArF、KrF、EUV）、アペル®、TPX®、半導体用ガス 高機能食品包装材料（シーラント、接着剤、コート剤、環境対応包材）、 産業用フィルム（イクロステープ™、SP-PET™）、包装用フィルム（T.U.X®）
ベーシック&グリーン・マテリアルズ	フェノール、PTA・PET、インダストリアルケミカルズ、サステナブル・フィードストック、ポリオレフィン、ライセンス、ポリウレタン材料 グリーンケミカル事業推進室	フェノール、ビスフェノールA、アセトン、PTA、PET、 EO、ハイドロキノン、アンモニア、排ガス低減剤（アドブルー®*）、 ポリオレフィン、TDI、MDI  *アドブルーはドイツ自動車工業会の登録商標です。

# 5-1) データハイライト

注) ~19年度：日本基準 / 20年度～：IFRS



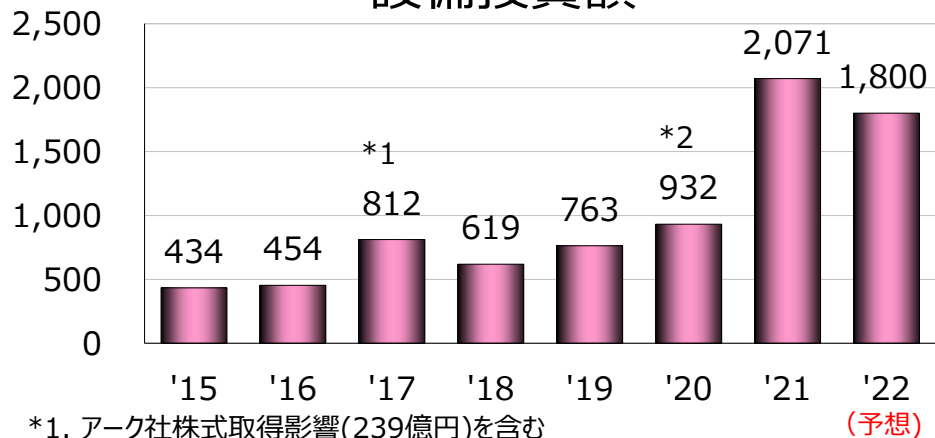


# 5-2) データハイライト

注) ~19年度：日本基準 / 20年度～：IFRS

(億円)

## 設備投資額

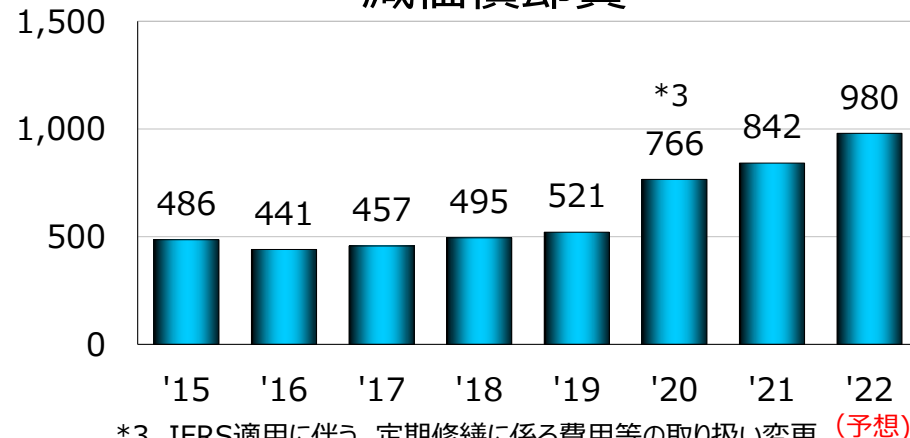


\*1. アーク株式会社取得影響(239億円)を含む

\*2. IFRS適用に伴う、定期修繕に係る費用等の取り扱い変更影響(設備投資額増加)を含む

(億円)

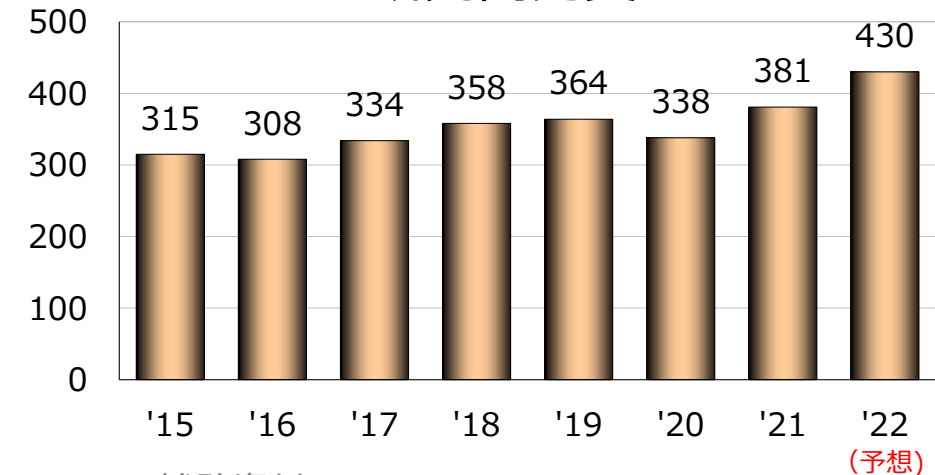
## 減価償却費



\*3. IFRS適用に伴う、定期修繕に係る費用等の取り扱い変更影響(減価償却費増加)を含む

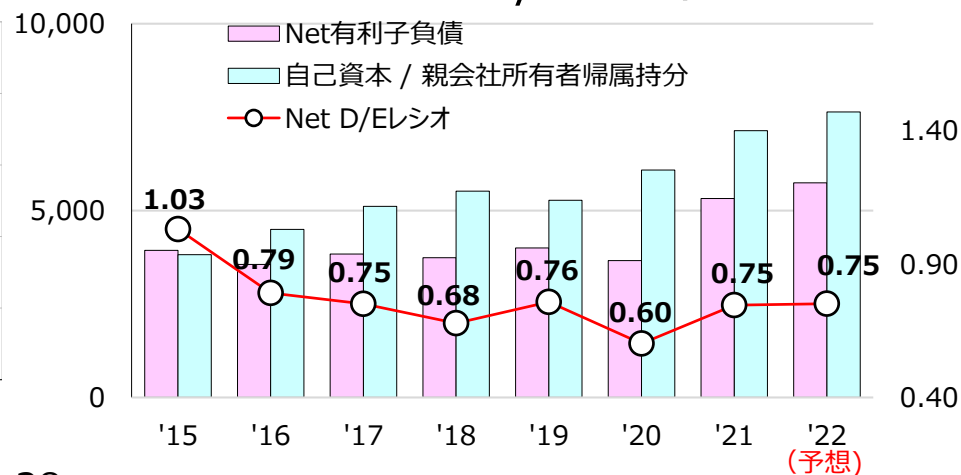
(億円)

## 研究開発費



(億円)

## Net D/Eレシオ



未来が変わる。化学が変える。

Chemistry for Sustainable World



三井化学

*Challenge Diversity One Team*